

平成20年度 次世代育成支援対策交付金事業の評価及び改善について

大館市次世代育成支援対策地域協議会では、平成21年7月9日に平成20年度事業実績について検討しました。評価及び改善については以下のとおりです。

事業名

- I 生後4か月までの全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）
- II 育児支援家庭訪問事業
- III 子育て短期支援事業
- IV 延長保育促進事業
- V へき地保育の推進

事業名	I 生後4か月までの全戸訪問事業 （21年度から乳児家庭全戸訪問事業に改称）
事業内容	すべての乳児のいる家庭を訪問することにより、子育てに関する情報の提供並びに乳児及びその保護者の心身の状況や養育環境の把握を行い、養育についての相談や助言その他の援助を行う事業
実施施設	保健センター
H20年度計画	訪問家庭数 160件
H20年度実績	“ 97件
H20評価	①事業量 10月から事業を開始したが、留守家庭も多く計画数までは訪問できなかった。
	②事業内容 初年度で年度途中の開始であり、第1子のみでの訪問とした。訪問者（地区の主任児童委員、民児委員）については事前に事業説明・研修等を実施し、訪問者からの報告書の提出、対象者や家庭の状況についての心配な点の連絡などスムーズに行うことができた。
	③連携・協力・協働 地区の主任児童委員、民児委員の積極的な協力により訪問を実施することができた。
H20改善点等	連絡が取れない家庭に対しては面接による確認がむずかしい。1か月アンケート返信や4か月健診受診の有無、5か月児、7か月児の相談や教室への参加状況により保健師の訪問としたが、方法についてはさらに検討したい。
H21年度計画	訪問家庭数 500件 また低体重児、未熟児など母子保健上管理の必要な乳児については、専門職による訪問を予定。

事業名	Ⅱ 育児支援家庭訪問事業（21年度から養育支援訪問事業に改称）
事業内容	関係機関等からの情報収集等により把握した養育困難家庭で養育支援の必要性があると判断したものに対し、保健師等による具体的な育児支援に関する技術的援助を訪問により実施する事業
実施施設	保健センター
H20年度計画	訪問家庭 70か所 訪問件数 75件
H20年度実績	〃 64か所 〃 78件
H20評価	①事業量 訪問家庭数は若干少なかったが、おおむね予定通り実施できている。
	②事業内容 ハイリスク妊婦や育児不安の強い親子、養育不安な家庭等の情報を収集し、早期に関わることで、虐待の予防や自信を持って育児に取り組めるような支援ができている。
	③連携・協力・協働 医療機関からハイリスク妊産婦等の情報提供を受け、訪問指導を実施している。また福祉、保健の関係者の連携による訪問指導の実施や検討会議の開催などよく機能している。
H20改善点等	「子どもを守る地域ネットワーク」調整機関のこの事業に係る割合が大きくなっていることから、その位置づけも含め検討する必要がある。
H21年度計画	養育支援訪問事業としての実施は、今後関係機関との協議・調整を要する。乳児家庭全戸訪問事業等の一環として実施する。

事業名	Ⅲ 子育て短期支援事業（トワイライトステイ）
事業内容	保護者が仕事その他の理由により平日の夜間又は休日に不在となり家庭において児童を養育することが困難となった場合その他の緊急の場合において、その児童を実施施設において保護し、生活指導、食事の提供等を行う事業
実施施設	白百合ホーム（母子生活支援施設）
H20年度計画	開所時間 夜間養護基本分 児童の下校等の時間～22時 休日預かり分 8時30分～22時 夜間養護基本分 1, 268人／年 休日預かり分 550人／年
H20年度実績	夜間養護基本分 1, 557人／年 休日預かり分 574人／年
H20評価	①事業量 平日分、休日分とも利用延日数が前年度より増加している。前々年度の自己負担分の引き上げが定着したことや事業の周知が図られたためと思われる。
	②事業内容 利用者からの苦情もなく、実施施設における事業内容は評価されている。また、利用料金についても少しでも利用者の負担を軽減するべく細かい設定をするなど、努力が見られる。
	③連携・協力・協働 事業の周知や情報提供について、実施施設や関係機関等との協力はできている。
H20改善点等	ホームページやパンフレットによる情報提供をしているが、今後利用が伸びると見込まれるその他一般世帯に対してのさらなる事業周知が必要と思われる。
H21年度計画	開所時間 夜間養護基本分 児童の下校等の時間～22時 休日預かり分 8時30分～22時 夜間養護基本分 950人／年 休日預かり分 500人／年

事業名	Ⅲ 延長保育促進事業（延長保育事業及び延長保育推進事業（民間）分）
事業内容	就労形態の多様化等に伴う延長保育の需要に対応するため、保育所の開所時間を越えた保育を行う事業
実施施設	大館乳児保育園
H20年度計画	開所時間（延長分含む）7時～19時 （うち延長開所時間18時～19時（後1時間延長）） 平均対象児童数 8名
H20年度実績	平均対象児童数10名（延利用児童数1,950名）
H20評価	①事業量 概ね計画通りの実施ができている。延べ利用数は昨年よりも増加した。
	②事業内容 実施施設において開所時間の後の延長を行うことにより、保護者の就労等に伴う延長保育の需要に対応することができている。事業についての苦情等もなく、順調に実施できたと思われる。
	③連携・協力・協働 実施施設と保護者の間で利用に関してよく話し合われており、状況も良好である。
H20改善点等	良好に事業が実施されていることから、今後も同様に継続して行ってほしい。
H21年度計画	開所時間（延長分含む）7時～19時 （うち延長開所時間18時～19時（後1時間延長）） 平均対象児童数 8名

事業名	V へき地保育の推進（へき地保育所）
事業内容	交通条件及び自然的、経済的、文化的諸条件に恵まれない山間地、開拓地、離島等のへき地における保育を要する児童に対し、必要な保護を行う事業
実施施設	へき地保育所
H20年度計画	施設（へき地保育所）数 9か所 （葛原、二井田、真中、下川沿、沼館、花岡、矢立、長木、雪沢） （うち交付金対象（平均利用児童数10人以上）施設 葛原除く8か所）
H20年度実績	平成21年3月31日現在 入所児童数 363名 （うち交付金対象施設 入所児童数 357名） 1日あたり平均利用児童数 278人 （うち交付金対象施設 平均利用児童数 273名）
H20評価	①事業量 昨年と比べ、児童数は若干減っている。また1施設を廃止した。
	②事業内容 既存認可保育所から距離があり、通所等が不便・困難な地区で要保育児童の保育に対応できた。3歳未満児の受入や保育時間の延長を積極的に行い、ニーズにあった事業展開がされていると思われる。
	③連携・協力・協働 児童の送迎や保育中の児童に関する連絡等、保護者の協力により概ね順調に対応できた。また、近隣住人の協力により施設内外の行事等を効果的に進めることができた。
H20改善点等	既存認可保育所等での対応が困難な地区を補完していることから、今後も引き続き事業を実施する。また、午後6時以降の延長保育実施など保育内容のさらなる充実を図っていく。
H21年度計画	施設（へき地保育所）数 8か所 （二井田、真中、下川沿、沼館、花岡、矢立、長木、雪沢） （全施設 交付金対象（平均利用児童数10人以上））